

### 3 ヒアリング調査

#### (1) 北海道恵庭市立図書館

#### 「読書コミュニティ」のまちづくりをめざす恵庭市 小中学生のための読書活動サポート体制と学校図書館ステップUPプラン

##### 【学校図書館に対する支援体制】

##### 1 学校図書館を市立図書館が所管

平成 15 年に図書行政の一元化を図るため、学校教育所管の学校図書館を市立図書館が所管する組織体制を構築する。

##### 2 専任学校司書の配置

平成 16 年に市内小学校全 8 校、平成 18 年には市内中学校全 5 校に学校司書を配置した。学校司書は、恵庭市第 1 種非常勤職員（図書館）としての身分を持ち、週 29 時間の勤務を行っている。主な業務は、司書教諭を補佐し、学校図書館で図書の分類・整理、貸出・返却、購入・廃棄計画などの専門業務を行うとともに、児童生徒の調べ学習に対応した図書の提供や本への興味を持たせるための読書活動の取組を行っている。また、読書活動推進対応を目的とした児童支援加配による「読書 TT」が小学校 1 校に配置しており、学校司書と連携を図りながら年間の読書指導計画を策定して、各学年における学校図書館を利用した教科学習の推進に取り組んでいる。

##### 3 学校図書館ステップUPプランについて

恵庭市は、【子どもの読書活動の推進に関する法律】に基づき、平成 17 年に「恵庭市子ども読書プラン」を策定し、その具体プランとして「学校図書館ステップUPプラン」が同年に策定されている。主な計画としては、「読みたい本がある図書館づくり」や量的な整備から質的な整備を目的とした「図書館の環境整備」等がある。また、「学校図書館図書購入予算の増額措置」として、平成 17・18 年度の 2 か年で、総額約 4,000 万円の図書購入費を計上し、各学校の学校図書館費（小学校 8 校、中学校 5 校）に充てたことにより図書が大幅に整備された。さらに、平成 19 年度から市立図書館と学校図書館とのネットワーク化・蔵書の共有化を図るため、双方の PC のオンライン化と配送システムの拡充（配本車の巡回運行）を開始した。

※学校間及び図書館との図書資料の貸出等については、各学校・図書館の PC 端末で図書の検索や貸出の予約を行い、週 4 回市内全学校の図書館を配本車が巡回運行（シルバー人材センターに委託）している。

##### 4 その他

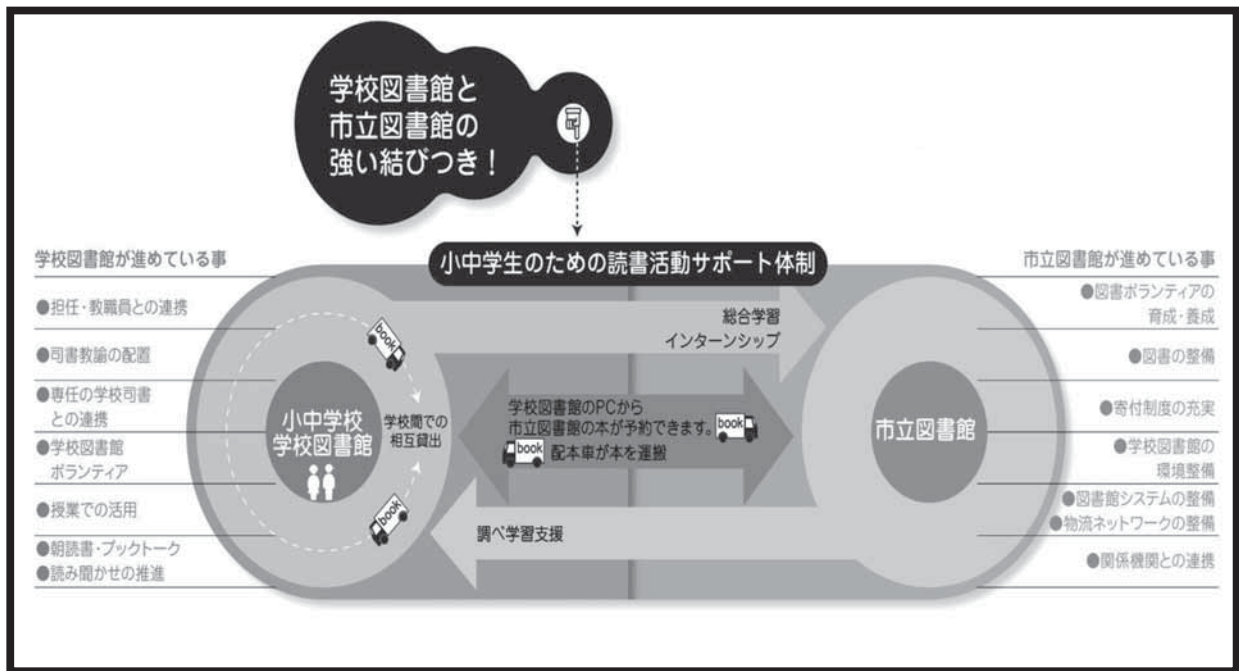
市立図書館では、学校図書館とのネットワークシステムの活用促進のため、配本システムマニュアルを全学校に配布しているほか、教職員向けの利用ガイダンス（読書のまちづくりを進める恵庭の学校の取組）を全教職員に配布し、図書館利用の啓発・連携事例の提供なども行っている。

また、学校ぐるみの読書活動推進のため、全校に設置されている図書ボランティアの育成や研修会などを実施したり、校長会内にプロジェクトチームを発足させ、読書アンケートなどの生活実態調査を行ったりしている。

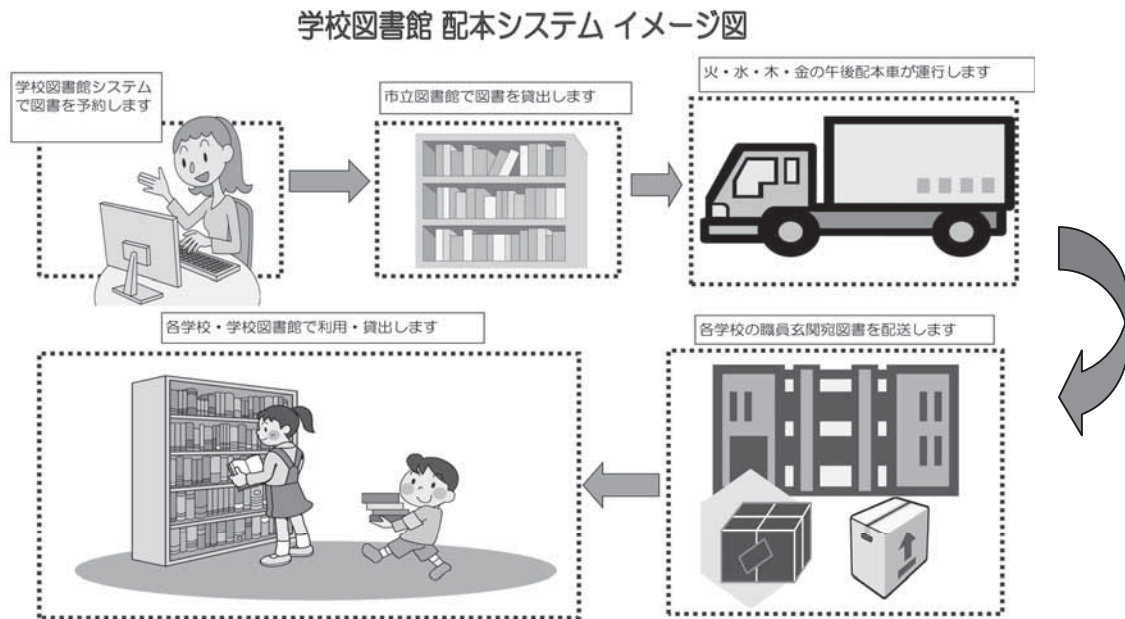
さらに、平成 18 年度からマッチングギフト制度を導入し、個人・団体からの寄付金と同額を市から拠出する仕組みをつくって図書資料の充実に充てている。

【参考資料】

(1) 恵庭市の市立図書館と学校図書館の連携関係模式図



(2) 恵庭市の配本システム模式図



【施設データ】

館名	恵庭市立図書館（本館）	
所在地	〒061-1373 北海道恵庭市恵み野西5丁目10-2	
TEL	0123-37-2181	FAX : 0123-37-2184
設置年	平成4年	設置主体 : 北海道恵庭市
ホームページ	<a href="http://www.city.eniwa.hokkaido.jp/">http://www.city.eniwa.hokkaido.jp/</a>	
入館者数	約31万人	利用者数 : 約12万2千人
蔵書数	約27万3千冊	貸出数 : 約61万2千冊
※データは全て平成21年度のもの		

